

福島第一原子力発電所における総合防災訓練の実施について【概要】

福島第一原子力発電所では、初めて「竜巻発生」による屋外設備への多数の損傷を想定した総合防災訓練を実施しました。また同訓練には協力企業作業員の方々にも参加いただき実施しています。

< 訓練内容 >

気象庁が福島県浜通り地方において『竜巻など激しい突風のおそれ』という気象情報を発表。その後、竜巻の襲来を受けて発生した、さまざまなトラブルに対して同時並行で復旧活動することを想定し訓練を実施。

【訓練実施日】

- ・平成26年3月13日（木）

【訓練実施について】

- ・原子力事業者防災業務計画ならびに福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画に基づき年1回実施

【主な訓練項目】

- 汚染水タンク漏えい対応訓練
- 火災対応訓練
- 原子炉冷却水注水設備復旧訓練
- 竜巻避難訓練（協力企業作業員中心）

（参加人数：約210名）

主な訓練の実施内容

○汚染水タンク漏えい対応訓練

竜巻による汚染水タンクからの水の漏えいに対する訓練



消防車へホースを接続する様子



タンク堰内の漏えい水の移送準備

○火災対応訓練

竜巻により火災が発生した前提で、自衛消防隊による消火活動を行う訓練



現場へ到着した自衛消防隊員



現場での消火活動

○原子炉冷却水注入設備復旧訓練

原子炉への冷却水注入設備の復旧を行う訓練



注水の準備（道路横断部のホース敷設）



炉注水消防車準備完了

○竜巻避難訓練

竜巻発生に伴う避難訓練



竜巻発生時の避難の様子



緊急避難場所の様子